

質問事項に関する回答書

(件名)磐越自動車道 龍ヶ嶽トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	6月10日	特記仕様書	24-37	調査ボーリング	質問に対する回答書37番号14に「調査ボーリングの削孔径はφ66mmとお考えください。」と記載されていますが、特記仕様書24-37(5)作業内容にロータリーパーカッション方式ワイヤーライン工法等により行うものとあります。当社で調査しましたがワイヤーラインによる先行削孔での削孔径はφ101mmとなり、質問回答とは異なります。この相違点について、どう考えるのかを ご教示願います。	調査ボーリングの削孔径は、正しくはφ101mmとなります。なお、「質問に対する回答書37(番号14)」及び「質問に対する回答書46(番号1)」については回答内容を訂正しておりますので、併せてご確認ください。
2	6月10日	特記仕様書	24-37	調査ボーリング(3)種別	調査ボーリング工 先進ボーリングの備考欄に ノンコア(20m/回×36回)と記載されていますが、金抜き設計書の調査ボーリング項目に ノンコアボーリング20m/回×36回)がありません。この項目は 金抜き設計書のどの項目は含まれるのでしょうか。ご教示願います。	単価表番号209~217に示す調査ボーリング工先進ボーリングの各単価項目に含むものとお考えください。
3	6月10日	特記仕様書	24-37	調査ボーリング	質問に対する回答書37番号14に「調査ボーリングの削孔径はφ66mmとお考えください。」と記載されています。この径φ66mmでの削孔となるとロータリー式ボーリングマシンを使用したいいわゆる通常の機械ボーリングになります。特記仕様書にあるとおり1施工当たり120m程度の施工自体は可能ですが、施工期間は2方施工でも2~3週間を必要として工程的にも無理があると考えます。この問題点について どのように考えるのかを ご教示願います。	調査ボーリング工の作業内容はロータリーパーカッション方式ワイヤーライン工法等により行うものとなります。本回答書(番号1)及び特記仕様書24-37をご確認ください。